

増鍾の抑制も空しく 遂に一千萬鍾突破

紡績會社は操短擴大から 漸次片番に移行か

【東京電】紡績聯合會は新年度の増鍾抑制策として、各社の増鍾目標を、前年度比で平均して二八・五割に抑制することを決定した。これは、各社の増鍾目標を、前年度比で平均して二八・五割に抑制することを決定した。これは、各社の増鍾目標を、前年度比で平均して二八・五割に抑制することを決定した。

對印輸出綿織物 品種別割當決定

統制協議委員會開催

【東京電】對印輸出綿織物品種別割當決定。統制協議委員會は、對印輸出綿織物品種別割當決定。統制協議委員會は、對印輸出綿織物品種別割當決定。統制協議委員會は、對印輸出綿織物品種別割當決定。

日魯漁業 減産免れず

電燈供給 佛印産に押さる

【東京電】日魯漁業減産免れず。電燈供給佛印産に押さる。佛印産に押さる。佛印産に押さる。佛印産に押さる。佛印産に押さる。

無煙炭と黒鉛 佛印産に押さる

フラン低落の餘波

【東京電】無煙炭と黒鉛佛印産に押さる。フラン低落の餘波。フラン低落の餘波。フラン低落の餘波。フラン低落の餘波。フラン低落の餘波。

水運連日増大 近放放水開始

間島耕作状況

【東京電】水運連日増大。近放放水開始。間島耕作状況。間島耕作状況。間島耕作状況。間島耕作状況。間島耕作状況。

米穀自治管理案 朝鮮に渡すに計上

朝鮮米穀管理案

【東京電】米穀自治管理案。朝鮮に渡すに計上。朝鮮米穀管理案。朝鮮米穀管理案。朝鮮米穀管理案。朝鮮米穀管理案。朝鮮米穀管理案。

京城水業合同 また怪しい雲行

個人會社の二派に分る

【東京電】京城水業合同。また怪しい雲行。個人會社の二派に分る。個人會社の二派に分る。個人會社の二派に分る。個人會社の二派に分る。個人會社の二派に分る。

北平組理事會 平北平組理事會

平北平組理事會

【東京電】北平組理事會。平北平組理事會。平北平組理事會。平北平組理事會。平北平組理事會。平北平組理事會。平北平組理事會。

朝鮮米穀管理案 朝鮮に渡すに計上

朝鮮米穀管理案

【東京電】朝鮮米穀管理案。朝鮮に渡すに計上。朝鮮米穀管理案。朝鮮米穀管理案。朝鮮米穀管理案。朝鮮米穀管理案。朝鮮米穀管理案。

天大原現物店

本日、明日、後日、相場、金、銀、銅、鉄、炭、米、麦、大豆、小麦、油、糖、紙、布、その他。

鋼管の前途

鋼管の生産、消費、在庫、相場、その他。

買方骨抜き

買方の骨抜き、相場、その他。

正米は行商

正米の行商、相場、その他。

小往來

小往來の相場、その他。

期近は空賣

期近の空賣、相場、その他。

買方骨抜き

買方の骨抜き、相場、その他。

買方骨抜き

買方の骨抜き、相場、その他。

買方骨抜き

買方の骨抜き、相場、その他。

相馬大作 (140)

桃川燕雀 演

意外な打明話

意外な打明話、相場、その他。

買方骨抜き

買方の骨抜き、相場、その他。

買方骨抜き

買方の骨抜き、相場、その他。

買方骨抜き

買方の骨抜き、相場、その他。

買方骨抜き

買方の骨抜き、相場、その他。

買方骨抜き

買方の骨抜き、相場、その他。

買方骨抜き

買方の骨抜き、相場、その他。

買方骨抜き

買方の骨抜き、相場、その他。

東城日報

寄附者 門家諸氏執筆 (見本進呈)

朝鮮語講義録

普通朝鮮語讀本詳解

わかり易の朝鮮語會話

朝鮮語研究會

日本共立火災保險株式會社

銀粒仁丹

仁丹

各種レール 輕便鐵路商會

ミツワ石鹼

祝 京 城 日 報 紙 齡 壹 萬 號

柴田製材所

柴田祐光

新義州營林署

丸中商會製材所
新義州鐵工所

中込精一

長澤木材資合會社

長澤照男

平安木材株式會社

新義州麻田洞

田中喜一

合資會社三葉製材所

村上弘一

滿鮮製函
木材株式會社支店

新義州鴨川町一

合資會社淺見製材所

新義州鴨川町一

共營木材株式會社

木村七郎

昭和高木和合資會社

高木延藏

杉原合資會社
新義州出張所

阪谷宇吉

義昌製材所

宋寬哲

表谷木材資合會社

表谷佐平

國境商會株式會社

金義明

「三ツ」の調味
無代道三
富吉繁作
富吉

破れた生垣（七）

加賀子には、對外の方へ、話が通ぬ
竹、それに、おれは、さうして、
かたがた、それな態度を小されたこと
一ついて、一時返事を語つた。
御遠慮はしりません。今、あら
ごき退屈しりませんと云ふから、
いろいろなお話を聞かせよう。

「腰さんをお連れになつてどうぞ
遊ばせよう。」

「腰は、頭にならう云つて、彼女の
言葉を促すのである。」

「奥庭に彼女を胸をとぎつた奴様
の影の中で、この晩年に至るも
厭やうなことはございせん。」

「でも、腰の小さい時とも、こ
うして、腰がむげましたつて言ふ
んださうでござんた。それが、今は
の通りですから……なんて、あん
まり雄大な精神でもありませんが、
腰をちよつとまくり上げて、彼
は苦笑した。

「さういふお坊ちゃんしり料
にも、わたくしは、いぢやなく、
好意をもてた。」

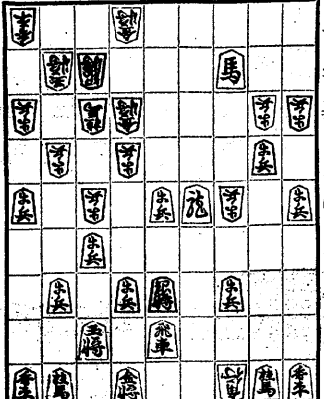
「ボートを遊ばしたんでせう、
よく御存知ですね。あつとも、
うにはお喋り大變なるが、」



（圖は五八飛）
（迄の局面）

左香落

六段△塚田 正夫（東京）
四段▲樋口 義雄（東京）

[illegible]

満洲國
農學博士 那須 皓

てゐるので、世界の熱帯
二の企業地として認めら

に英、蘭、佛、米、日
諸大國は協同してある
事を閉鎖した處にてある
その產物たる海産物の販
あまねく海外へ輸出せら
れ年數多い年で三十五億、
落せる今日於てもの十下
らない恐慌である。し

なる事業が爲す初より何等の困
となしめつて考へられ。
と結びつけて考へられ。

を過ぎて、今や國策として賣
べき時期に入りつゝある。現
在に内地及び朝鮮の事情がこれ

の影響を蒙る民は紛々たる論議の

廣島縣音戸港清盛塚と

對居 廣島縣音戸小學
 校長 渡辺重
 教員 小田 庸
 唱歌 松原音戸高等小學
 作曲 佐々木 通堂 方一
 作曲 佐々木 通堂 方一
 何のためかと
 大鯨島野紅花

全國神社廻り

熊野三山

世界音楽めぐり

兄弟
藤輪 欣

る海岸の湖畔。妹がつれづれに弾いてゐるピアノ、
んやりと聞いている。其處へ浴衣、かけで遊びにき
アイオニストとピアノストと音楽家の三人、サロ

音楽會になる。ふと思ひ出したやうにラヂオにスベ
スベ入れると其處からも初秋の夜にふさはしい音楽が
なる。

△印八船客新リ
●北鮮新鴻連絡船開始
北鮮販神行(門司經由)急行
濟州午前十時發 門司同
新京丸、重興四、一〇二噸

正調	定員一等十二名、二等四十三名、三等百十八名	廣州丸	八月十一日
旗基	三ノ日	河内丸	八月十六日
羅布	三ノ日	北鮮連行	八月廿三日
	午前九時發	江蘇丸	八月廿六日
	午前六時發		

雄基	九ノ日	午後七時着	大連發	午前十時	門司發	翌早
北鮮橫濱直行	東京(清水)名古	屋(飯神・關門)	コリス	熟	吉	桃
丸	八月	古	大連	丁	石	神

[illegible]

○陸軍運輸部御用船
北鮮名古屋行 釜山・博多・關門
新森州三日 鎮海浦五日 仁川七日
（家内露進至）
京城府庫大門通三丁目二〇
東京火災ビル四階
大阪商船株式會社

立神丸
神生丸
北野大航行
津浦丸
金剛山丸
雄雉丸
西野大航行
○前部船
釜山・蘭門・轉行各港

清津丸
天津丸
元山三日
釜山・博多・蘭門・
神戶寄港
清津丸
天津丸
元山五日
釜山・博多・蘭門・
神戶寄港
清津丸
天津丸
元山一日
釜山・博多・蘭門・
神戶寄港

京城出張所
電話本局一〇三〇
長
○東京内附店・案内所
國際運輸會
慶田組

德江丸
 新義州三日 鎮南浦三日 仁川五日
 並剛山丸
 新義州八日 鎮南浦九日 仁川十二日
 馬山練石浦 每月五回出帆
 海州線 直航 隔日出帆
 黃海線各驛下船車運貨物車

[illegible]

會學丸	仁川十日 鎮南浦五日	白石補綴 (忠南牙山移) 每月出乳
大連行		
櫻島丸	仁川十日 鎮南浦十二日	此ノ外ニ沿岸各方面行貨物取
錦江丸	仁川三日 鎮南浦一日	仁川港則二丁目

浦安行
 出 出
 元山三 清津六日 雄基七日
 △乗船現金低價船中食料附
 △右ノ外船臨時船附(配船致シ船
 渡ノ浦津ヲ取計ヒ國リマス
 日本郵船定期出帆
 仁川汽船會社
 電話 五一 番一
 一四〇番
 九州郵船株式會社
 出帆廣告

京城南大門通り五ノ一
朝鮮郵船株式會社
 代表電話本局四一九五番
 釜山第一樓橋
九州郵船株式會社出張
 電話二四一

仁川出帆

新義片・安東出版

（代理店）日鮮海運會
九州各地行
仁川經由

木浦代理店 朝鮮海運會社
群山海運會社
群山代理店 朝鮮海運會社
仁川代理店 朝鮮海運會社

一限ト
ロホン
ヤ和船

華山代理店
 元山代理店
 城津代理店
 藤代代理店
 國府宮崎支店
 日鮮海運株式

朝鮮北海道大連線
又印ハ樺太行
連直行（三等七國）

明石丸	八月十二日
礪波丸	八月十九日
天海丸	八月廿七日
日本海丸	八月三日

川出明 代理店日鮮海運株式會社
電話五〇

日本海丸 八月七日
代理店日酢海運株式會社
電話五〇
八月十八日
八月廿五日

日本海丸 代理店 八月十一日	日本海丸 代理店 八月十日	日本海丸 代理店 八月廿六日	日本海丸 代理店 八月九日	日本海丸 代理店 八月二日
----------------------	---------------------	----------------------	---------------------	---------------------

羽海丸
 日本海丸
 內地寄港地、境、呂津、
 聖地、新聖地、敦賀、大木、
 八月廿九日
 八月十三日

青島出帆	八月十一日	代理店	國際運輸支社 電話二〇三
北陸、北海道行		代理店	國際運輸支社 電話二〇三
北海道——北鮮線		定期	
川南鎮、小橋、大泊			
有願命令航路			

元山出帆 代理店 朝鮮運送支
八月十四日 十月三日
内地寄港地 伏木直行、新潟、

日 船共新式機壳貨客船ニシ
 各船共新式機壳貨客船ニシ
 近郊船隻脱出前記各代理店並各
 店發賣所
 ジャパン・リス・社ビニール
 案内書送呈 本社及代理店へ
 送付アリ 各船解船案内書ヲ
 致シマス
 神戸市神戶島明白町
 船谷汽船株式會
 河皮共同汽船船出

營口直行

水線號丸 八月十三日
 ◇朝鮮鐵道局主要驛ニテ乘客
 連絡荷物取扱役仕候
 乘客切符發賣所 京城三越支
 ジャパンツウリストビニ
 案内
 仁川海岸町四

八月十二日	第三大饗丸	群
八月十五日	第二福井丸	群
八月十五日	第一小野丸	群

八月十八日 第三信洋丸

大阪商船株式會社
工部代理店

株式會社 慶田
四二番・二二一番
七二番・九八四番
二二一番
二七八番

君！
夏はこいつで
なくっちゃア
氣分が出ないよ



朝鮮麥酒株式會社